

タスクフォースの今後の取組について（案）

○「タスクフォース牽引事業」を新たに位置付け、各タスクフォースを推進

各タスクフォースにおいて、タスク（課題）の解決を推し進め、タスク自体を打破する「タスクフォース牽引事業」を位置付け、「挑戦的」かつ「スピード感」のある取組を集中的に実施する。（別紙参照）

さらに、定期的に産業政策監を中心にしたP D C Aによる進捗管理を実施し、効果の検証に併せて、事業自体の見直しを随時行うことにより、積極的かつ強力なタスクフォースの推進力とする。

【参考】

○タスクフォースについて

1 趣旨

本県における持続的な経済成長の促進や地域経済の活性化を図るとともに、将来を見据えた社会的な要請に応えるため、全庁を挙げた体制により、タスク（課題）の解決を目指す「タスクフォース」を構築する。

2 タスクフォース等の位置づけ（タスクフォースのテーマ設定、担当部局）

各タスクフォースについては、

- ・将来を見据えた社会的な課題（県民の健康維持、環境保全、地域経済活動の促進、ブランディングなど）であるか
- ・本県の強み（高い技術力を有する企業集積、健康長寿、豊かな自然環境など）を生かせる可能性があるか
- ・今後の成長、発展性が期待される分野であるか
- ・先進的なモデルケースとしてアピールできる分野であるか

などの視点を踏まえて次のテーマを設定している。

①健康づくり産業振興（H25～）

担当部局：産業労働部、健康福祉部、観光部、農政部、林務部

②環境・エネルギー産業振興（H25～）

担当部局：環境部、産業労働部、農政部、林務部、建設部

③I C T地域振興（H25～）

担当部局：企画振興部、産業労働部

④革新的農業技術開発（H26～）

担当部局：農政部、林務部、産業労働部

⑤県産品輸出促進（H27～）

担当部局：県民文化部、産業労働部、観光部、農政部、林務部

⑥地消地産推進（H27～）

担当部局：産業労働部、環境部、観光部、農政部、林務部、建設部、企業局

「健康づくり産業振興タスクフォース」

事業推進リーダー
産業戦略室長 竹花 顕宏

タスク（課題）

- ・健康長寿の世界一の実現に向けて、医療・介護機関のみならず、ヘルスケア産業が健康づくり・疾病予防等の推進や医療介護現場の課題解決に貢献する。
- ・「健康長寿県」のブランドを活かした域外競争力のあるヘルスケア産業を創出する。

1 タスクフォース牽引事業

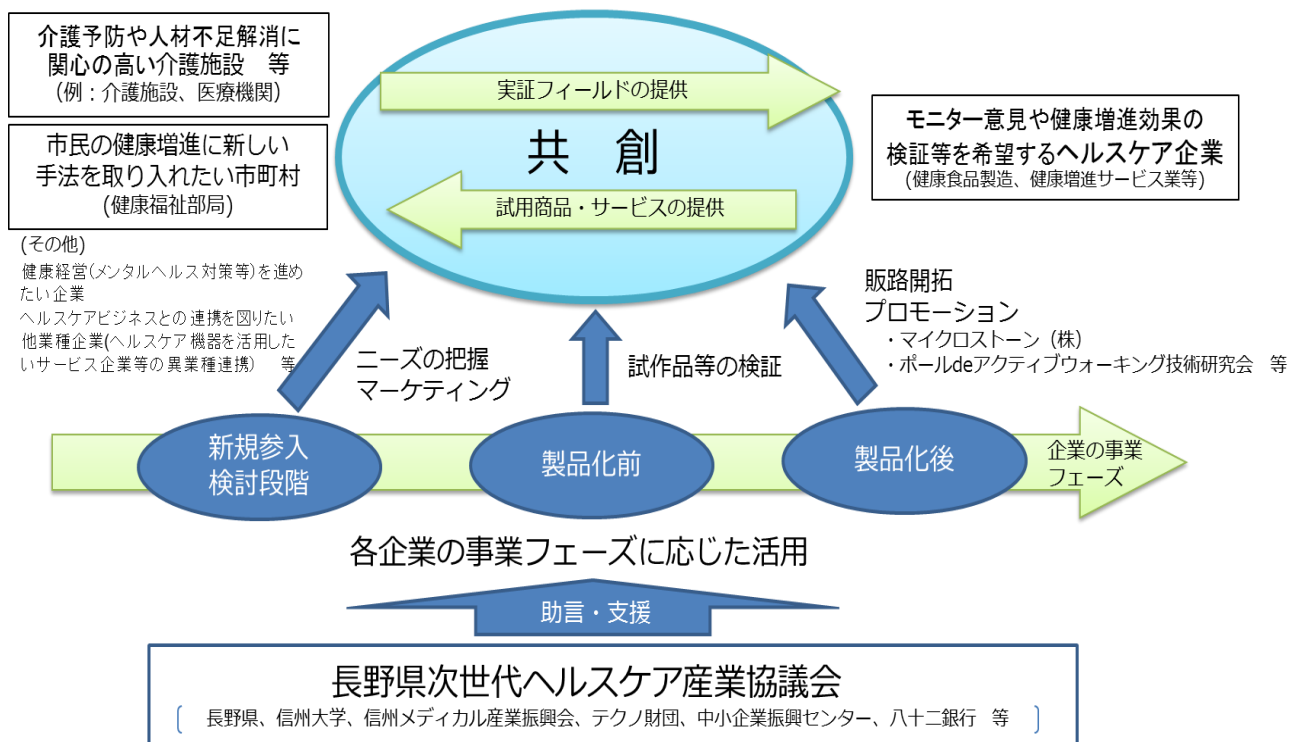
ヘルスケアビジネス共創フィールド構築事業

2 事業内容

健康づくり・介護とヘルスケア産業の連携を促すためには、ヘルスケア産業に期待される役割を明らかにしていく必要がある。

よって、企業が、健康づくり・介護の現場と共に、健康増進・介護等の課題解消に直結する商品・サービスを“共創”していく場を構築し、“現場が欲しい”ヘルスケア産業を創出すると同時に、ヘルスケア産業が担う役割（戦略的に取り組むべき分野）を明確化する。

3 事業の流れ



【目指す効果】

- 現場のニーズや声を踏まえた競争力のあるビジネスを創出
- 参入障壁である健康増進効果の検証コスト(モニター募集等)を抑制
- 市町村、介護施設等は安価で新しいサービスを利用可能

4 挑戦的な成果・目標、目標年度

- ・フィールド参加企業数 100社(平成31年度末時点)

タスク（課題）

- ・本県の「豊かな自然環境」を、社会全体で維持・保全する取組によって次世代へ引き継ぐ。
- ・産業分野においても、環境エネルギー分野における技術やノウハウの産業化を進めることで省エネルギー化・自然エネルギー活用を推進し「豊かな自然環境」の維持・保全に貢献するとともに、地域経済の活性化を図る。

1 タスクフォース牽引事業

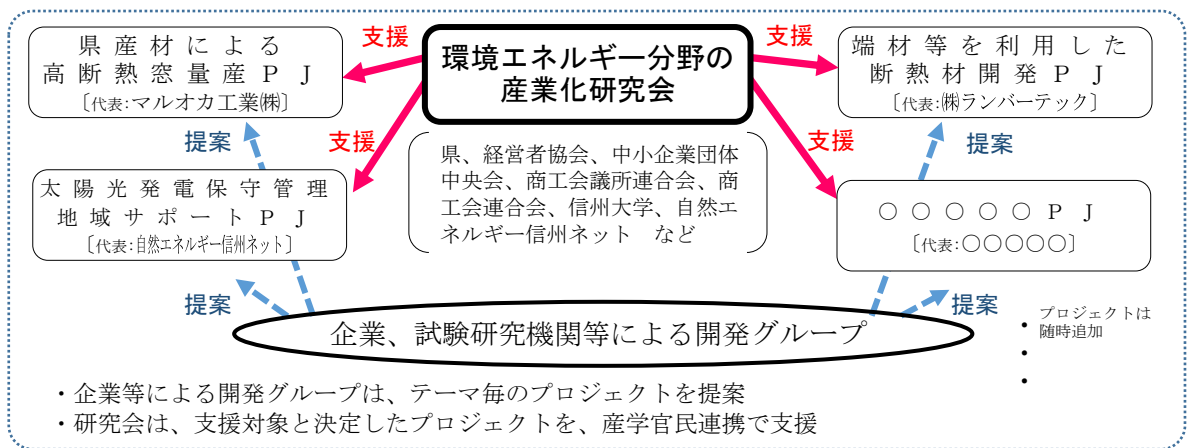
環境エネルギー分野ビジネス創出事業

2 事業内容

地域経済の活性化、省エネルギー化、自然エネルギー活用の推進に向けて、企業等が主体となって進める関連分野の産業化に向けた取組を、産官学民連携による研究会により支援

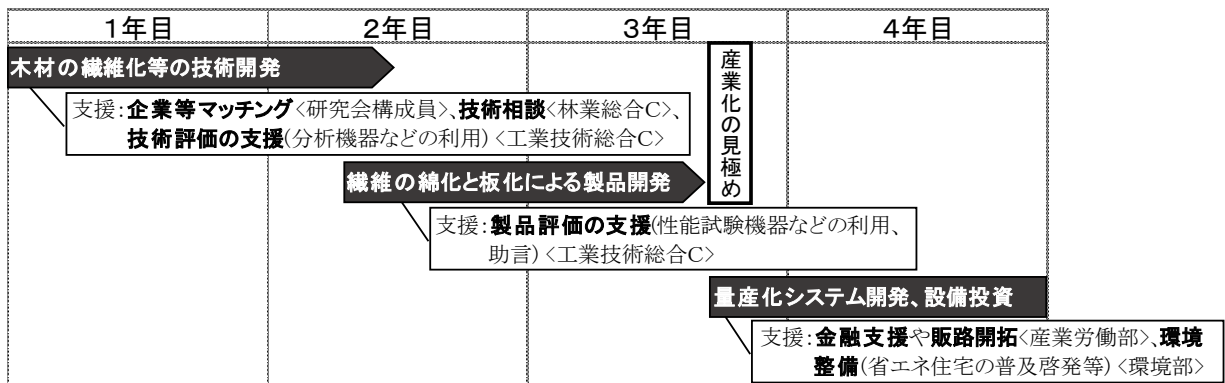
3 事業の流れ

- H28 「環境エネルギー分野の産業化に向けた勉強会」の開催 ※実施済み
- H29～ 「環境エネルギー分野の産業化研究会」の開催、各プロジェクトの設置



- H30～ **各種製品、サービスの商品化**

4 支援のイメージ（断熱材の場合）



5 挑戦的な成果目標・達成年度

- ・環境エネルギー分野の製品・サービスのシーズの創出数：3件以上（H33年度）
具体例）県内企業を中心とするグループが、市場ニーズに対応した、断熱性能の高い木製窓を開発して、製品化(量産)の目途をつける。
- ・プロジェクトに関わる企業数：40社（H33年度まで通算）

タスク（課題）

- ・ICTの導入・活用により、中山間地域等が抱える社会・生活基盤の確保・再構築などの課題解決を目指す。
- ・産業化促進の観点から、データの分析・利活用により、地域のニーズに沿ったビジネス・サービスの創出・革新を図る。

1 タスクフォース牽引事業

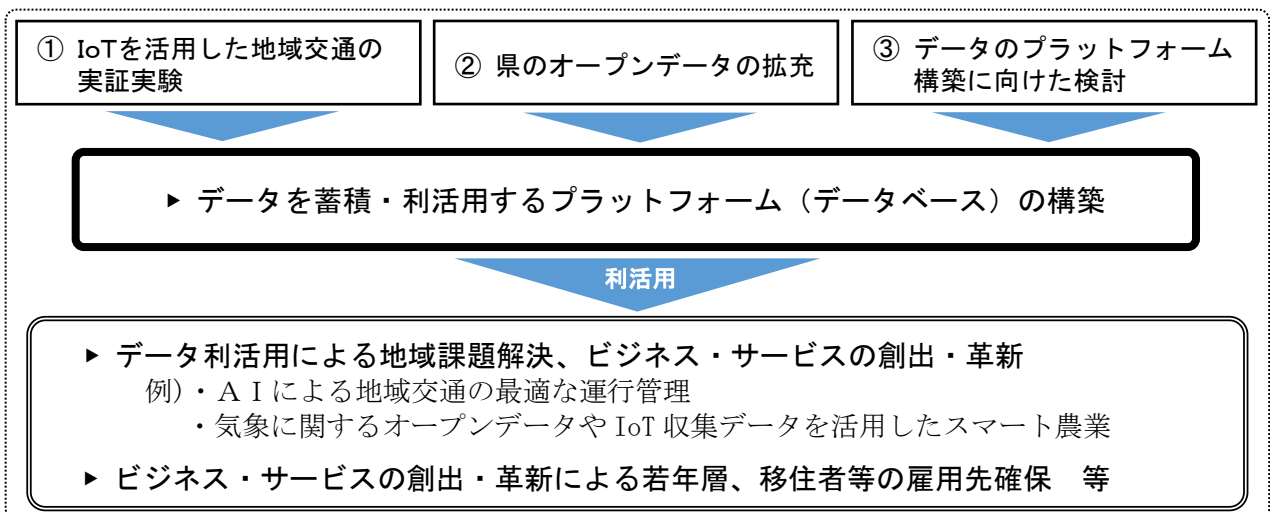
ビッグデータの利活用によるビジネス・サービスの創出・革新の促進事業

2 事業内容

IoTにより収集したデータ（行動履歴、観測記録等）や、行政が保有するオープンデータ等を蓄積したビッグデータを分析・利活用することで、地域の課題解決に資するビジネスやサービスの創出・革新を促進

3 事業の流れ

- H30
- ① IoTを活用した地域交通の実証実験モデル事業を実施
 - ・タクシーを地域住民の足として利用する実証実験の中で、配車・相乗り予約、買物支援（宅配）サービスの利用状況等のデータを収集・分析し、ビジネスモデル化を検討（後年度、他地域へ展開）
 - ② 県のオープンデータの拡充
 - ・県のデータの棚卸し（～H31）、オープンデータサイト掲載データの拡充
 - ③ データのプラットフォーム構築に向けた検討を開始
 - ・県、市町村、大学、民間企業等の産学官連携により検討
 - ・市町村・民間データの登録促進やデータ標準化・更新等の課題についても共有・検討
 - ・オープンデータに対する民間企業のニーズの調査
- H31
- データを蓄積・利活用するプラットフォームを構築
- ・誰でも利用可能で検索し易いデータベースの共通基盤を構築（H32 運用開始予定）
 - ・IoTによる収集データやオープンデータを可能なものから登録（以降、拡充）
 - ・運用上の課題（データの標準化、更新等）については、引き続き検討



4 挑戦的な成果目標・達成年度

データを蓄積・利活用するプラットフォームを平成31年度までに構築

【現状】

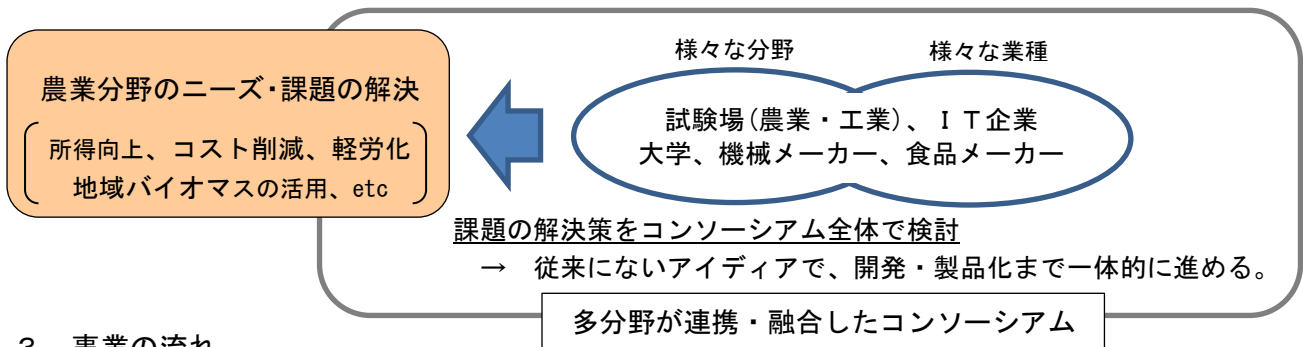
タスク（課題）

・本県の農業は、中山間地域を中心に農業就業人口の減少や高齢化による担い手不足・労力不足が進んでおり、農業生産性向上や農業経営体の規模拡大・所得向上を進めていくため、工業分野をはじめとした多分野とのテクノロジーの融合による、農業生産を革新する新たな技術・機械の開発とそれらの国内外への展開が期待されている。

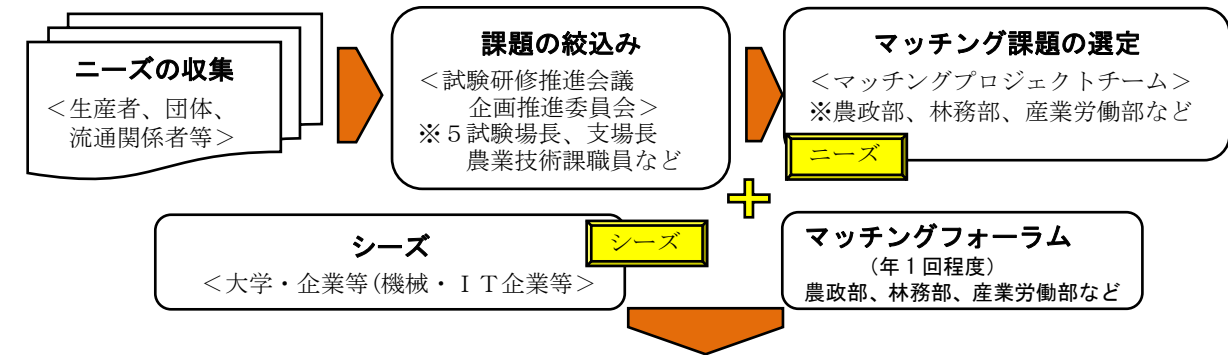
1 タスクフォース牽引事業
信州農業を革新する技術開発推進事業

2 事業内容

農業生産現場の課題を解決し、生産性を向上を促すため、多分野（工業系など）のシーズを農業に導入する研究コンソーシアムを立ち上げ、機械開発を行う。



3 事業の流れ



＜実施中の例＞

- 人手不足対応、「レタス収穫機の開発」(H27～30)
- 規模拡大、高齢化対応、「水田畦畔草除草管理機の開発」(H27～30)
- 担い手不足対応、「市田柿のピッキング&ハンギングロボットの開発」(H29～32)

4 挑戦的な成果目標・達成年度

- ・革新的な農業機械の開発 実用的な試作機 5 台 (H31 年度)



【今後】

- ・農業分野の生産工程や流通における、プロセスイノベーションについて、テーマ・手法の課題化を検討
- ・長野県が開発した「農業技術」や「機械」を他県や国外にも積極的に拡大する手法の検討

タスク（課題）

- ・ 人口減少に伴う国内マーケットの縮小、海外市場の拡大、TPPやEPA等の経済環境の変化などに的確に対応し、農産物・加工食品の輸出拡大を目指す。
- ・ 食文化や食材の活用方法の普及、技術提携等の取組も強化する必要がある。
- ・ 重点分野（品目）、ターゲット国（地域）、売り込み手法など、より戦略的な取組を強化し、県内事業者の販路拡大、ビジネスモデルの構築を図る。

1 タスクフォース牽引事業

戦略的な県産品海外展開促進事業

2 事業内容

県内事業者、バイヤーの意見、JICA など海外関係機関の取組などを活かし、更なる海外食市場等の分析・調査を実施し、海外展開戦略を策定するとともに、市場の獲得・拡充のための支援体制を強化する。

これにより、販路拡大や新展開、生産・投資拡充、雇用増など県内産業の振興につなげる。

3 事業の流れ

- ～H29 ・ 現地マーケティング調査（高級スーパーでの長野フェアや現地支援員と連携したマーケット調査 香港、台湾、シンガポール、タイ、マレーシア、ベトナム）
 - ・ 海外バイヤー招聘（中国、香港、ベトナム、マレーシア、シンガポール、タイ、ハワイ、フランス）
 - ・ 国際的な食の見本市への出展支援（香港、シンガポール） など ※下線はH28、H29 新規
- H30～ 海外の食市場等の分析・調査による戦略策定及びマーケティング調査等の拡充

主な取組

- これまでの取組等も踏まえ、世界の食市場等の分析・調査及び県産品海外展開拡大戦略の策定
 - ・ 国別（目標設定）、品目別の市場特性、消費者の嗜好、商習慣を踏まえた商品開発。食文化や食材の活用方法の普及、技術提携等（技術指導等による販路拡大・原材料の輸入など）
 - ・ 重点品目（例：日本酒、味噌、りんご、ぶどう、農産物を利用した加工品等）の販促
 - ・ 国際基準（ハラール、HACCP 等）の取得支援、MOU 等に基づく輸出・生産促進、インバウンド等との連携（バイヤー・ブッカーズ等） など
- 長野フェアの増設（新規：ハワイ、フランス）及び民間企業と連携したアンテナショップの開設、国際見本市への出展支援
- 新たな市場開拓・拡充のための体制強化（EPA等を踏まえた食のグローバル推進員等の増強）

4 挑戦的な成果目標・達成年度

- ・ 農産物輸出額（第2期長野県食と農業農村振興計画）
H25：1.2億円 → H29：5億円（H27：3.8億円）
- ・ 加工食品輸出額（信州創生戦略）
H25：18.7億円 → H29：51億円（H27：31.4億円（速報値））